

DX化支援研修サービス ChatGPT業務活用編

生成AIの進化と助成金制度を追い風に、今は企業がAI人材を育成する絶好の機会です。

会社概要



- ・会社名 : オフィスコンサルティング株式会社
- ・所在地 : 〒220-6008
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA807
- ・事業内容 : 教育訓練事業、電力小売事業、
光コラボレーション事業、OA機器販売事業 他
- ・設立 : 2018年10月
- ・ホームページ : <https://office-consulting.co.jp/>

このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。



現場の生産性向上

業務のムダや手戻りを減らし、
標準化と効率化を実現



生成AIの安全運用

使いどころ・注意点・判断手順を理解し、
リスクを下げて活用



社内展開・定着

活用が一部の人で止まらず、
組織で再現できる運用に落とし込み

なぜ今、AI研修なのか

- 01 ChatGPTの登場** この1～2年で生成AIの利便性が圧倒的に向上しました。
- 02 デジタル人材育成** デジタル人材の育成は、今や企業にとって最重要課題です。
- 03 国の支援** 国は500億円規模の予算を投じて、人材育成を支援しています。

当社が選ばれる理由

01

わかりやすい内容構成

共感もてるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使えます

02

目的別に選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意しました

03

直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できます

04

ChatGPT（主に学び、習得できること主に学び、習得できること）

生成AI／ChatGPTの使いどころと注意点、そして「場面→失敗→改善」で再現できる活用の型を身につけます

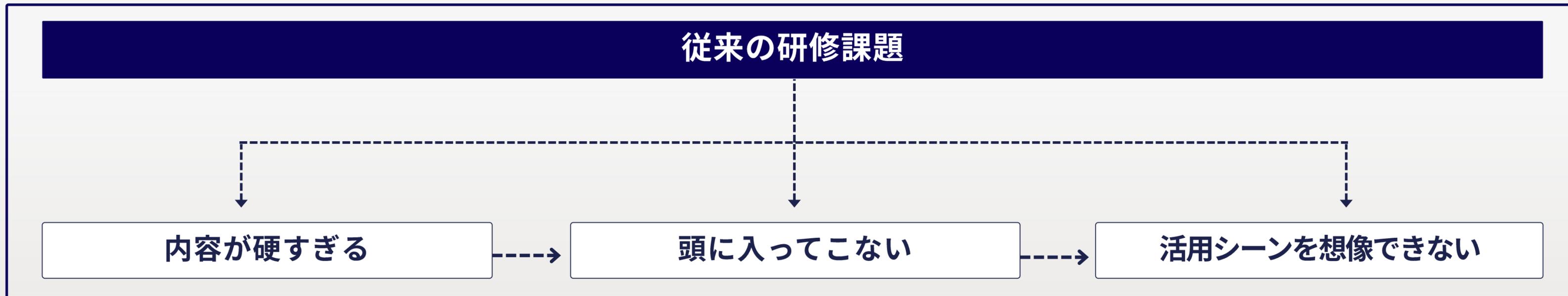
05

本研修のストーリー部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です



構成の特長



飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。

ChatGPT業務活用編 AIの力で課題を解決するストーリー

本教材は、介護現場で起きがちな「記録」「家族説明」「申し送り」「資料作成」「クレーム対応」などを題材にストーリー形式（ケーススタディ）で、ChatGPTの業務活用について学ぶeラーニング教材です。

AIワークフロー	AIエージェント
人が作ったルールの上を走る	ゴールに合わせて動きを変える
A → B → C	Start → Target
例：申請処理・定型報告書作成等	例：問い合わせ対応・個別提案等
AIワークフロー：やり方が決まっている業務向け	AIエージェント：状況を見て考える必要がある業務向け

そう、そういう動きをする可能性はある。だからAIの出力には誤りが混ざる前提で、最後は人が確認するのが基本になるよ。

メモリ
保存されたメモリを参照する
ChatGPT が回答するときにメモリを保存して使用できるようにします。

メモリ
長期的に有用な要点のみを保存し、チャット削除後もメモリとして残る

つまりチャットを消すと、そのチャットのやり取りは見返せなくなるけど、私についての要点がメモリとして残ることはある、ってことですね。

FOCUS IS CHATGPT LEARNING

現場を疑似体験できる
ChatGPTの使いどころ・注意点・判断の順番を【現場の状況】としてストーリーで体感できる。

再現できる型が身につく
「よくある場面 → 失敗しやすいポイント → 改善の型」の流れで学び、理解にとどまらず明日から同じ場面で再現できる行動に落とし込める。

他業務にも展開できる
内容は汎用的に設計されているため、介護以外の業務にも適用可能。

各章で学べるAI

■ 全14章構成

■ 標準学習時間：約12時間

■ 全動画 120日間見放題

1章	生成AIの全体像（新人アシスタント視点） ・生成AIを「指示が必要な新人」と捉え、得意領域（下書き・整理・要約）を理解する	8章	音声入力での思考整理 ・声で未整理の情報を出し、要点整理と次の一手につなげる
2章	「それっぽいのにならぬ」理由 ・正しさは保証されない前提を学び、点検して仕上げる使い方を身につける	9章	GPTsでクレーム対応を型化 ・感情受容→事実整理→再発防止までを、ロールプレイで反復できるようにする
3章	ChatGPTの学習と記録の違い ・パーソナライズ／メモリ／会話記録を整理し、設定で管理できるようにする	10章	クイズで定着 ・クイズ作成・共有で復習を回し、使いながら育てる運用を学ぶ
4章	基本操作と段取り ・画面操作・履歴整理を押さえ、「たたき台→追加指示→仕上げ」の進め方を習得	11章	マークダウンで出力安定 ・目的・前提・形式を構造化して渡し、抜け漏れ・ブレを減らす
5章	画像活用 ・写真を起点に質問・加工等を行い、問いを立てて成果物につなげる	12章	セキュリティ／著作権 ・プラン・設定の違いを理解し、安全に使う判断軸を持つ
6章	PDF活用 ・PDFをアップして必要箇所を抽出し、「読む」から「質問して使う」へ転換する	13章	習慣化① ・忘却を前提に、日常で使い続ける仕組みを作る
7章	資料作成のはじめ方 ・目的・ゴールを言語化し、下書きを整えながら進める型を身につける	14章	習慣化② ・出力を再編集し、AIと自分の役割分担を判断できるようにする

学習管理システム（LMS）について

直感的に操作できるプラットフォーム設計により、スムーズに学習を進められ、受講完了後には修了証明書を発行



修了証明書



プラットフォーム

01. 直観的に分かりやすいデザイン

ユーザー視点を徹底し、誰にとっても理解しやすいシンプルかつ直観的なデザインを設計している

02. 結果の管理

各受講者の学習進捗および視聴履歴を記録しCSV形式でのデータ出力に対応している

03. 飛ばし見防止機能付き

学習効果を高めるための飛ばし見防止機能を搭載している

サービス料金

ChatGPT業務活用編・サービス料金（受講料金）

AIの利活用に特化した研修をパッケージ化し
LMS機能（学習管理システム）を有した
eラーニング動画形式です

動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて
取り組む事が容易となり、貴社の業務効率化
を強力にバックアップします

1人：330,000円（税別）

- 全6章構成
- 標準学習時間：約12時間20分
- 全動画 120日間見放題



助成金入金までの流れ

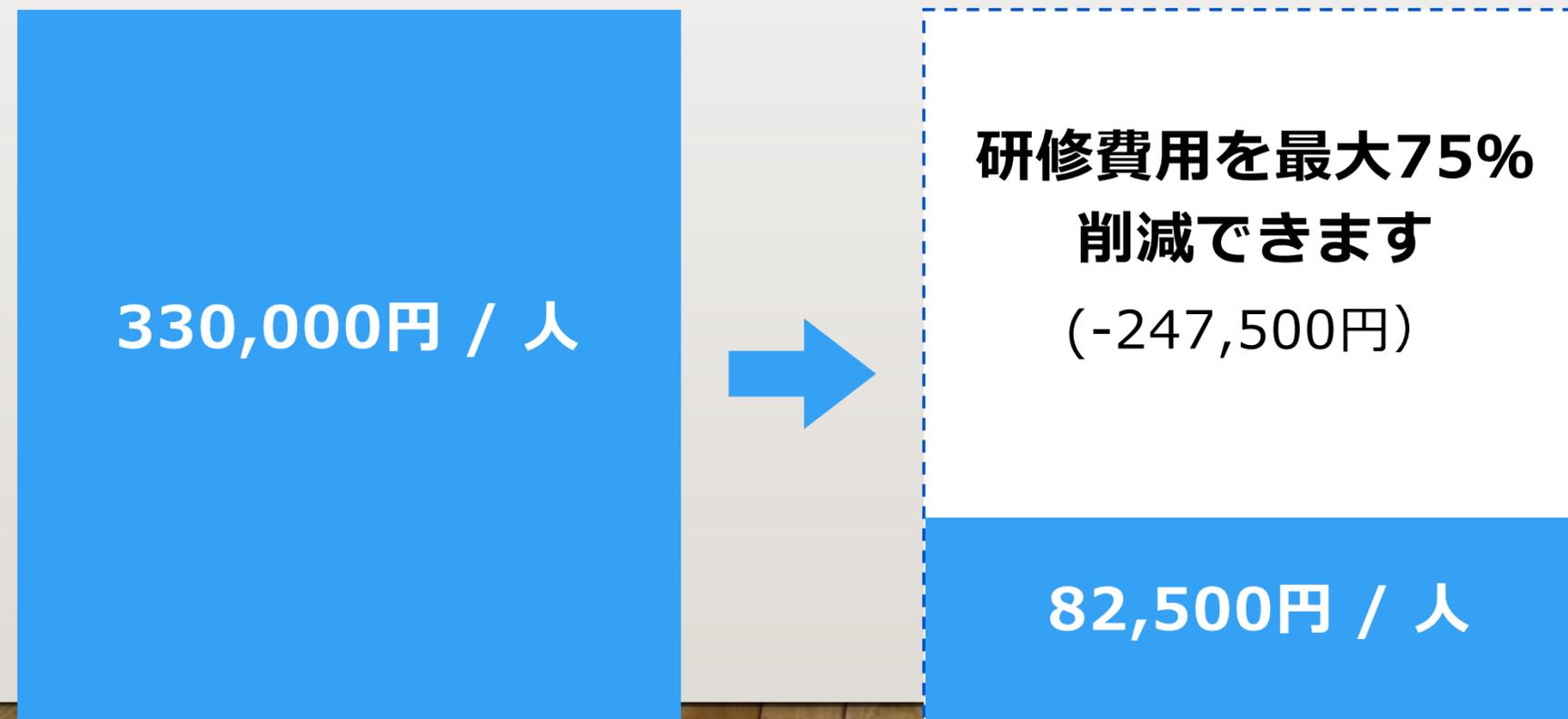


助成率・助成額について

助成金の活用 厚生労働省の**人材開発支援助成金—事業展開等リスクリング支援コース**の申請が可能

研修費用の最大75%が助成金として支給されるため、実質的な費用負担を大幅に軽減できます。

助成金未利用時は1人330,000円（税別）



※ 大企業は最大60%の助成となります (-198,000円)

ありがとうございます

生成AIの急速な進化により、ビジネスの前提は大きく変わりつつあります。
さらに助成金制度という強力な後押しがある今、企業がAI人材を本格的に育成できる絶好のタイミングです。
「様子を見る」段階はすでに終わり
AIを使いこなせる組織かどうか、今後の生産性と競争力を左右します。
投資負担を抑えながら組織変革を進められる今こそ、AI人材育成に踏み出す最適な機会です。